

令和6年度 第2回 運営推進会議議事録

- 日 時：令和6年11月19日(火) 17:30 ～ 18:30
- 場 所：篠原事業所2階 会議室
- 出席者：甲斐市職員、新居区区长、新居区民生児童委員、あすか在宅クリニック、山梨県立大学、利用者様家族、当法人職員、しらゆり看護小規模多機能型居宅介護事業所職員（計12名）

議事事項	<p>1) 現状報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ①利用者の状況について ②サービスの内訳について ③看多機利用後における利用者の変化 ④事故報告 <p>2) その他</p>																														
議事内容	<p>議事1)現状報告</p> <p>看多機サービスは、当法人において初めての事業である。サービスの提供内容は、職員間で相談しながら行っている。開所から2ヶ月ほど経過し、職員間のコミュニケーションもスムーズとなったと感じる。利用者様やご家族からの「利用してよかったです」という言葉を励みに、「その人らしさを大切に生活を支える」ことを常に意識し支援している。</p> <p>① 利用者の状況について</p> <p>1) 利用者数は、10/1時点は9人、10/31には14人となっている。 開所初日より泊りの利用者があり、泊り・通い・訪問に対応できるように職員体制を組んだ。</p> <p>2) 介護度</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>6人</td> <td>4人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>0%</td> <td>14%</td> <td>43%</td> <td>29%</td> <td>14%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護・短期利用以外)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>介護度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要介護1</td> <td>15.3</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>20.4</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>18.5</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>23.1</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>22.7</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>平均介護度は3.5と、全国平均と比較し利用者の介護度は高い。</p> <p>3) 世帯の状況</p> <p>独居：3人 老々世帯：6人 家族と同居：5人</p> <p>家族と同居していても日中独居となる方もいる。家族の状況に合わせたサービスを組む</p>	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	人数	0人	2人	6人	4人	2人	割合	0%	14%	43%	29%	14%	介護度	割合 (%)	要介護1	15.3	要介護2	20.4	要介護3	18.5	要介護4	23.1	要介護5	22.7
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																										
人数	0人	2人	6人	4人	2人																										
割合	0%	14%	43%	29%	14%																										
介護度	割合 (%)																														
要介護1	15.3																														
要介護2	20.4																														
要介護3	18.5																														
要介護4	23.1																														
要介護5	22.7																														

ことで家族の負担軽減に貢献できると考えている。

4) 医療依存度について

気管カニューレ（痰の吸引が必要）、胃瘻、膀胱留置カテーテル、排便管理、インスリン注射等、多岐にわたる。それぞれのニーズに合わせた対応を行っている。

② サービスの内訳について

1) R6. 10月

通い	241 回/月	
泊まり	98 回/月	
訪問	介護	110 回/月
	看護	23 回/月

利用者に合わせて、送迎時間を設定するなど「その人らしい生活」を支援している。訪問介護では、排泄と清潔支援が多い。

訪問看護は、日中に体調確認、排泄管理、医師の指示による注射の施行などを行っている。夜間は、緊急時対応で訪問看護ステーションへ連絡する仕組みとしている。

医療依存度の高い方は、訪問看護ステーションの看護師と情報共有しながら援助している。

(意見)

訪問看護は、日中の訪問が主だと思うが、そこでの管理がきちんとされれば利用者が安定するので、そこでの管理が大切だと思う。

(質問)

認知症の方も利用されているが、どのように支援をしているのか。

地域でも徘徊の方がいると心配や負担も大きい。このような施設があると安心できる。

(応答)

認知症の方のそれぞれの生活ペースを知ることを意識している。また、声掛けを行い、ご本人の反応を見て支援している。地域に貢献できるような施設にしていきたい。

(質問)

人員の確保は利用者に合わせてできているのか。

(応答)

随時、採用して補充をしている状況である。

③ 看多機利用後における利用者の変化

[ケース 1]

重度の認知症の方で、入院中はほぼ車椅子で過ごし利用開始当初は立位もままならなかった。本人の歩行への意欲を職員が尊重し対応したところ、車椅子移乗は軽介助となり、付き添いのもとで手引き歩行ができるようになった。

[ケース 2]

気管カニューレの方は、入院中ミトンを着用していた。理解力のある方で、外さないように説明することで日中は外すことができた。車椅子に乗り降りする時間を作ったり、食べたい意欲に対して ST の評価のもと、アイスクリームを摂取するようになった。

	<p>(意見)</p> <p>関わり方で利用者が良い方向に進むことは素晴らしいと思う。 自分らしさを引き出す関わりは大切である。</p> <p>④事故報告</p> <p>10月中旬に、ソファに座って熟睡していた利用者が転落し頭部の打撲があった。 ご家族に連絡し職員が同行し受診した。検査の結果は頭部に異常はなく経過観察となっている。事故報告書を作成し甲斐市に届け出を行っている。</p> <p>原因として、職員が業務に慣れていなかったこと、発生した時間が昼食後の職員体制が手薄な時間で職員間の声掛けが不十分だったことが考えられる。</p> <p>今回の事故を踏まえて、職員はトイレ介助等で離れる際にはお互いに声掛けを行い、持ち場を決めて利用者から目を離さないようにしている。</p> <p>(意見)</p> <p>本来、そのような事故はあってはならないことだから、危険を予防してしっかりした対応をお願いしたい。</p>
<p>備 考</p>	<p>次回会議：R7年1月21日（火）17：30 場所：しらゆり看護小規模多機能型居宅介護事業所 会議室</p>